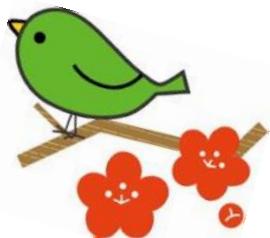




○学校教育目標：ふるさとを愛し、ふるさとから愛される「ときわっ子」の育成
 ○めざす学校の姿：美しい学校（美しい心の育成＆美しい環境の整備）
 ○めざす子どもの姿：いつも笑顔で 元気です！

あこがれ

校長 沖 中 直 樹



1月もあっという間に過ぎようとしています。まだまだ寒い日が続きますが、日がだんだんと長くなり、少しづつではありますが、確実に春が近づいていることを感じさせます。

さて、小学校生活にも十分慣れてきた1年生ですが、さまざまな学校行事や学校生活の中で上級生（2～6年生）は、自分たちより難しい勉強をし、同級生とは違った大きな存在と感じているのではないでしょうか。まだまだ小さな社会しか知らない1年生にとって、5歳も年が違う6年生はきっとあこがれの存在だと思います。私自身も小学校時代を振り返ってみると運動会の選手リレーでごぼう抜きをしている上級生、放送委員として全校放送をしている上級生の姿を見て、とてもあこがれをもった記憶があります。また、校舎の中ですれ違ったり、登下校時に出会ったりする上級生の背中はとても大きく感じていました。

ある人から「人を動かすのは『あこがれ』だ。」と言うのを聞いたことがあります。「あんなふうになりたい。」と目標を持って生きてきた人もきっと多いことでしょう。逆の場合もあります。「あんなふうになりたくない。」これも立派な反面教師です。その人と逆なことをすればいいわけですから、それなりに具体的な目標を持つことができます。

いずれにしても、人間はそれまでに接してきた人間の中から、自分の生き方の目標をつくり出しているのです。

あと2ヶ月もすると新1年生が入学してきます。そして、現1年～6年生は全員1学年進級します。これまでの生活を振り返り自分自身を見つめ直してください。そして、ぜひ、新1年生に、また下級生にとって「あこがれとなる先輩」になってほしいと思います。

美しく

【校訓】たくましく
かしこく

チャレンジ目標

- ☆ ともだちとあいさつ
- ☆ きもちのよいあいさつ
- ☆ わたしからあいさつ

